

台風等の災害に対する住民の備え

台風のシーズンが近づいてきました。

みなさん備えは万全ですか？

家族で災害について話し合おう！

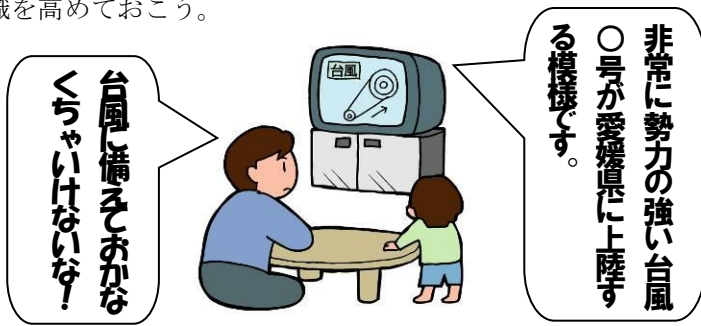
- (1) もしもの時の連絡方法を考えておこう。(携帯電話やメールはつながりにくくなります。
災害伝言ダイヤル 171 や、インターネットの災害掲示板の活用)
- (2) 非常持出品を準備しよう。(貴重品・衣料品・非常食・携帯ラジオ
懐中電灯・救急用品・衛生用品など必要になるもの)
- (3) 家屋の周りを整備して、飛びやすいものを片付ける。
土のうの準備も！
- (4) 避難場所や避難経路の確認をしておこう。
(ハザードマップの活用)

正しい災害情報の入手！(台風の勢力、進路、予想雨量等)

- (1) 正確な情報を得るためにラジオを準備しておこう。(家の中では
停電する恐れがあります)

地域の防災活動に参加しよう！

- (1) 自治会や市が行う防災訓練に参加して、もしもの時のために防災
意識を高めておこう。



お問い合わせ 新居浜市消防本部 TEL 34-0119

風水害への備え

「備えあれば憂いなし！」備えとは一体どんなこと？

家族会議を開こう

家族そろって災害について話し合い、防災意識を高めましょう。

話し合っておきたいこと

I、家の周辺の危険個所を全員で確認

(実際に歩いてみる)

II、避難場所はどこか、どのルートで避難するのか

(より安全に避難場所まで辿り着くルートを確認する)

III、どうやって連絡を取り合うか、家族がどこに集合するのか

(災害時、電話やメールでの連絡は困難になるので

伝言ダイヤル 171 「誰もイナイ」やインターネット

の災害対応掲示板を利用しよう。)

IV、災害時の役割分担

(非常持出品、子供・高齢者の誘導等)

非常持出品を準備しよう

非常食、衣料品、貴重品、救急用品、衛生用品、照明、携帯ラジオ、その他必要なものを袋に入れて持ち出しやすい場所に準備しよう。

情報を集めよう

台風や豪雨などは、規模や襲来の時期をある程度予想できます。

テレビやラジオ、インターネットから

天気予報など気象に関する情報をチェックしましょう。

長く住んでいる人から

被害は地形と関係があるため過去の災害による被害情報が役立ちます。

自治体や防災関係機関から

市役所(消防)・警察署から身近な情報を得ることができます。

災害時に避難などの指示が出されたときは、すみやかに従いましょう。

適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、**危険な場所にいる人は避難することが原則**です。

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。**安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。**
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。**安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。**
- マスク・消毒液・体温計**が不足しています。できるだけ**自ら携行**して下さい。
- 市町村が指定する**避難場所、避難所が変更・増設**されている可能性があります。災害時には**市町村ホームページ**等で**確認**して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は**車も含め危険**です。やむをえず**車中泊**をする場合は、浸水しないよう**周囲の状況などを十分確認**して下さい。